

38 愛媛県 (人口：約146万人、二次医療圏数：6)

松山医療圏	
人口	約65万人
既指定がん診療連携拠点病院	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜・大洲圏域をカバー ・他圏域（拠点病院あり）からの受療実績について説明あり ・施設の機能的な役割分担について説明あり
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター	
新規・更新の別	新規 ※地域として平成14年3月15日指定
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	405床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	6,228 (12x519) 名 (88%)
悪性腫瘍手術総数	1,232
化学療法総数	4,296 (12x358)
放射線治療 (体外照射)	650
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
愛媛大学医学部附属病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	566床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,848 (12x154) 名 (21%)
悪性腫瘍手術総数	401
化学療法総数	4,008 (12x334)
放射線治療 (体外照射)	353
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
愛媛県立中央病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	825床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,144 (12x262) 名 (19%)
悪性腫瘍手術総数	611
化学療法総数	1,104 (12x92)
放射線治療 (体外照射)	318
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
松山赤十字病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	742床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,204 (12x267) 名 (19%)
悪性腫瘍手術総数	807
化学療法総数	1,140 (12x95)
放射線治療 (体外照射)	171
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

今治医療圏	
人 口	約 18 万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	特記すべき事項なし
済生会今治病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	171 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	984 (12x82) 名 (23%)
悪性腫瘍手術総数	375
化学療法総数	384 (12x32)
放射線治療 (体外照射)	62
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

4 1 佐 賀 県 (人口：約 86 万人、二次医療圏数：5)

中部医療圏	
人 口	約 36 万人
既指定がん診療連携拠点病院	佐賀県立病院好生館
備 考	・西部、東部圏域をカバー
佐賀県立病院好生館	
新規・更新の別	新規 ※地域として平成14年12月9日指定
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	535 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	2,400 (12x200) 名 (25%)
悪性腫瘍手術総数	370
化学療法総数	1,788 (12x149)
放射線治療 (体外照射)	246
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。
佐賀大学医学部附属病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	580 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	2,076 (12x173) 名 (25%)
悪性腫瘍手術総数	699
化学療法総数	2,700 (12x225)
放射線治療 (体外照射)	452
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

北部医療圏	
人 口	約 14 万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	・西部圏域をカバー
唐津赤十字病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	333 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	780 (12x65) 名 (13%)
悪性腫瘍手術総数	351
化学療法総数	1,200 (12x100)
放射線治療 (体外照射)	201
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

南部医療圏	
人 口	約 17 万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備 考	・ 西部圏域をカバー
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	420 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	972 (12x81) 名 (13%)
悪性腫瘍手術総数	278
化学療法総数	972 (12x81)
放射線治療 (体外照射)	1,642
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

42 長崎県 (人口：約147万人、二次医療圏数：9)

長崎医療圏	
人口	約56万人
既指定がん診療連携拠点病院 一般病床数/新入院がん患者数	長崎市立市民病院 414/* 日本赤十字社長崎原爆病院 360/*
備考	特記すべき事項なし
長崎大学医学部・歯学部附属病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	都道府県がん診療連携拠点病院
一般病床数	806床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	3,264 (12x272) 名 (25%)
悪性腫瘍手術総数	996
化学療法総数	2,484 (12x207)
放射線治療 (体外照射)	363
指定要件の充足度	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録を年度内に整備 ・腫瘍センターを年度内に整備

県南医療圏	
人口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
長崎県立島原病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	250床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	600名 (12x50) (14%)
悪性腫瘍手術総数	253
化学療法総数	1,260 (12x105)
放射線治療 (体外照射)	186
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

43 熊本県 (人口：約184万人、二次医療圏数：11)

八代医療圏	
人口	約15万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院 ※アスベスト疾患センター
一般病床数	410床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,512 (12x126) 名 (16%)
悪性腫瘍手術総数	383
化学療法総数	1,788 (12x149)
放射線治療 (体外照射)	110
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

球磨医療圏	
人口	約10万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
健康保険人吉総合病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	268床
新入院がん患者数/年 (新入院患者数に占める割合)	1,176 (12x98) 名 (24%)
悪性腫瘍手術総数	118
化学療法総数	1,548 (12x129)
放射線治療 (体外照射)	94
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

46 鹿児島県（人口：約175万人、二次医療圏数：12）

南薩医療圏	
人口	約9万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
鹿児島県立薩南病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	151床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	852 (12x71) 名 (34%)
悪性腫瘍手術総数	185
化学療法総数	1,752 (12x146)
放射線治療 (体外照射)	62
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

奄美医療圏	
人口	約13万人
既指定がん診療連携拠点病院	なし
備考	特記すべき事項なし
県立大島病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	385床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	528 (12x44) 名 (10%)
悪性腫瘍手術総数	299
化学療法総数	696 (12x58)
放射線治療 (体外照射)	2,440
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。

47 沖 縄 県 (人口 : 約 136 万人、二次医療圏数 : 5)

中部医療圏	
人 口	約 46 万人
既指定がん診療連携拠点病院 備 考	なし 特記すべき事項なし
沖縄県立中部病院	
新規・更新の別	新規
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
一般病床数	550 床
新入院がん患者数／年 (新入院患者数に占める割合)	1,644 (12x137) 名 (12%)
悪性腫瘍手術総数	1,440
化学療法総数	3,552 (12x296)
放射線治療 (体外照射)	5,500
指定要件の充足度	・指針に定める必須要件の整備が行われている。